



八戸高専だより

第151号 平成29年3月

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校 発行

〒039-1192 青森県八戸市田面木字上野平16-1

TEL 0178-27-7223 (総務係)

FAX 0178-27-9379

E-mail somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

URL <http://www.hachinohe-ct.ac.jp/>



目

次

卒業生・修了生への祝辞(学校長より)	1
卒業生・修了生への祝辞(後援会長より)	2
本科生 祝・卒業	3
卒業生・修了生の進路状況	7
卒業研究テーマ一覧表	9
専攻科生 祝・修了	11
専攻科特別研究発表会表彰者	12
専攻科特別研究テーマ一覧表	13
就職・進学体験記	15
退職するにあたって	16
新任教職員紹介	17
第4学年見学旅行	17
インターンシップ	17
教務委員会から	18
厚生補導委員会から	19
北辰寮から	20
4学期制実施部会から	21

COC/COC+計画立案室から	22
国際交流センターから	23
留学生担当から	24
男女共同参画委員会から	24
相談室運営委員会から	25
図書館委員会から	26
ラグビー東北地区高専体育大会	27
全国高専体育大会	27
ロボコン	28
エコラン	28
デザコン	28
プロコン	28
卒業生・修了生表彰	29
各種検定資格合格者数(人数のみ)	30
青森県・八戸市 スポーツ賞受賞者	30
平成29年度行事予定表	31



卒業・修了される皆様へ

— 自らを信じて夢に挑戦！ —

八戸工業高等専門学校

校長 岡田 益 男

卒業・修了を迎えられた皆様、おめでとうございます。

八戸工業高等専門学校での5年間あるいは7年間の研鑽に敬意を表しますとともに、これまでの保護者の皆様のご支援に深く感謝する次第です。卒業生、修了生の皆様は入学時に比較して心身共に目覚ましく成長されたことと存じます。

卒業生の皆様は、平成27年度に導入された4学期制により、新たな八戸高専を目指した2年間で過ごされ、2学期制に慣れた5年生には戸惑いも数多くあったかもしれません。新しい4学期制の目的は、学生が将来にわたって学習する基盤を培い、主体的に学ぶ習慣や社会の発展に寄与する志や責任感を身に付けられるような教育カリキュラムの導入があります。教えられる場から自ら学ぶ場への転換です。

この1年も、学生が就職・進学、課外活動、クラブ活動等において素晴らしい実績を挙げております。

まず、就職・進学率ですが、本年度の本科の進学率は36%と昨年度より減少しましたが、専攻科では東北大16名、東工大2名、東大1名等多くの有名校に挑戦し合格となり、進学率は55%でした。これは、本科や専攻科の学生が積極的に編入学試験や大学院入学試験に挑戦した結果だと存じます。

また、一昨年度から専攻科の特別研究や本科の卒業研究において、英語での発表を奨励することとしました。特筆すべきは、専攻科の特別研究の発表において昨年度同様に、39名中39名全員が英語で発表したことです。また、本科の卒業研究発表においては、進学する学生を主に、多くの学生が英語で発表しております。今後も、多くの学生が異文化の体験ができるように短期留学プログラム等を充実させる予定です。

また、課外活動、クラブ活動についても素晴らしい実績を挙げております。全国高専体育大会サッカー競技3位、女子ソフトテニスシングルス1位、2位、Hondaエコマイレージチャレンジ全国大会（大学・短大・高専・専門学校クラス）

4位（全国高専で2位）、全国高等専門学校弓道大会男子・女子各個人1位、など輝かしい成果を挙げております。また、陸上等の個人部門においても数々の優れた業績を挙げております。学校を代表して、熱心に取り組んだ学生の皆様、ご指導頂いた教職員や監督、コーチにあらためて御礼申し上げます。就職にも、進学にも、クラブ活動・課外活動にも、チャレンジする姿勢が、このような業績につながってきたのではないかと考えます。今後も「失敗を恐れず挑戦する」姿勢が、本校の校風として芽生え、さらに発展することを願うばかりです。

卒業・修了後の就職先での仕事は、製造現場のもの作りや、研究においても、一人での仕事でなく、全てチームとして実施いたします。仕事を確実にこなせる能力はもちろんですが、人間力が重要となります。これまで、本校において授業や寮生活、クラブ活動・課外活動などを通じて培った「知力」、「気力」、「体力」、「実践力」、「先輩を敬い、後輩を慕う力」を基にチームの一員として、諸先輩と相談しながら何事にも失敗を恐れず、課題に果敢に挑戦して下さい。必ず課題を克服できると思います。「自らを信じて未来の夢に向かって挑戦」です。

卒業・修了生の皆様が就職・進学後も国際的に活躍できる技術者・研究者として、輝く未来に羽ばたくためには、「失敗を恐れず挑戦する」姿勢だけでなく、高い倫理観に基づく行動規範を持ち、人間関係が希薄になりつつある現代社会においてこそ、礼儀正しい挨拶、周りへの感謝の気持ちや気遣いの一言を常に心がける等、社会人として健全なモラルを持ち続けていくことが肝要です。引き続き保護者の皆様のご支援・ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

最後に、卒業と修了に際しこれまでご支援頂いた保護者の方々、親族の方々に御祝いと感謝を申し上げ、卒業生、修了生に、輝かしい未来が開かれますように心から祈念したいと存じます。卒業・修了を迎えられた皆様、おめでとうございます。



後援会長 岩 瀬 勝 志

今春、卒業を迎える八戸高専本科・専攻科の卒業生・修了生の皆様、おめでとうございます。そして、この日を心待ちにされ、長きにわたりサポートされてきた保護者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

また、校長先生はじめ諸先生方、職員の皆様の熱意あふれるご指導で、卒業生・修了生を育てていただきましてありがとうございました。心から感謝申し上げます。

卒業は、新しい生活への出発の時でもあります。就職し社会で活躍される方、また、専攻科への進学・他の大学への編入学など、進む道はそれぞれ違う道かもしれませんが、変化を恐れずに、柔軟に、迷わず進んでいってください。そしていつの日か、高専での思い出の数々が、心の糧として輝きを増していくことでしょう。この経験は、新しい人生に向かうあなた達にとって必ず役立っていくことと思います。

急で長い坂道をかけあがり、中学校を卒業したばかりのあなた達は、15歳の多感な時期に親元を離れ、希望に胸を膨らませながら5年制の高専に入学しました。いくつも年のはなれた先輩や、違う地域の仲間たちと出会い多くの友と一緒に生活し、柔軟に吸収できるこの時期に学び、共に成長し経験できたことは、何物にも代えがたい財産であり、人生の宝となるでしょう。

過密で難しい授業に追われながらも、何度も練習した部活動、『どうすれば』もっとよく出来るか考え抜いたクラブ活動、『どうすれば』もっと良くなるかと考えた課外活動など、何度も繰り返し練習した研究発表、『何度も何度も』やり直した卒業研究や試験、多くの輝かしい成績や活躍は素晴らしい限りです。その努力と熱意と勇氣に敬意を表します。ぜひ、自分の強みとして大事にしてください。そして『同窓の友』と『高専魂』を誇りに、一人一人が多才な力を発揮し活躍されることを願っております。

八戸高専には、自由な校風と自由な活動をできる環境と、最先端の設備で自分に合った分野を選ぶなどの環境や設備があります。この素晴らしい環境や、楽しい授業を見守り続けて頂いた校長先生はじめ諸先生方、職員の方々、すべての高専関係者の方々、そして各界で高い評価を得て活躍されているOBの方々への感謝の心は忘れないでください。そして今まで支えてくれた保護者の皆様、家族、そのままのあなた方を認めてくれる身近な方々をありがたく思い、時々思い出して頂ければ幸いです。

あなた達が選んだ人生を信じて、無限の可能性に挑戦し続け、新しい世界へと羽ばたいていってください。世の中は、凄い速さで進化していますが、自分を信じて、謙虚で華やかであり続けてください。新たな時代に、新しいものを生み出すリーダーとして、また、世界に通用する知識と力をつけて、信頼される人間として活躍されることを切に願っております。

この卒業という一つの節目に胸を張って、堂々と飛び立つあなた方を見送る事を喜び、八戸高専に時代を刻んだあなた達一人一人を誇りに思います。

最後になりましたが八戸高専後援会に携わって5年、私も今年度で退会となります。

これまで、支えていただきました皆様、惜しみないご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。この紙面をお借りして心から感謝申し上げます。様々な方と出会い、交流や活動を通して、大変充実した時間を過ごすことができました。

今後も、学生への教育援助や課外活動を行う際の支援や学生の能力を高める活動への支援など、保護者の皆さまには引き続き後援会活動へのご協力をお願いいたします。

八戸高専の更なる発展と皆様のご活躍を心からご祈念致しまして、祝辞にかえさせていただきます。



卒業を祝して

機械システムデザインコース長 沢村 利洋

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様にはこれまで賜った多大なご支援とご協力に感謝するとともに、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆さんは、機械工学科の1年から5年の間に、機械工学の専門の基礎的知識と、ものづくりに必要な設計・工作のスキルを学修しました。高専での実習や実験、CADの経験は、皆さんの糧となり、「工学」に携わる上で必ず役に立つことでしょう。また、卒業までこぎつくことができた根性は、自信となり、自ら積極的に動ける人となっていることでしょう。

いま、皆さんは、長い間在籍していた高専から飛び立ちます。新しい世界に対して期待に胸を膨らませる一方で、新しい環境での人間関係などに不安を抱いている方もいるのではないのでしょうか。でも、これまでの学生生活を思い返してください。紆余曲折もあったかもしれませんが、今、この卒業時、多くの仲間が隣にいます。高専時代の友人や先輩後輩、先生方といった多くの「ひとのネットワーク」は、卒業後も思いを共有できる大切な宝物です。心の一角に忘れず留めて置いて下さい。

皆さんが、それぞれの個性を活かして、広い世界の様々なところで元気に活躍することを願っています。頑張ってください。

YELL

機械工学科5年担任 黒沢 忠輝

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、本日まで立派にご子息を育ててこられた保護者の皆様にも、心よりお祝いを申し上げます。

実は私自身もこの八戸高専の卒業生のひとりでございます。入学時は当時新築のA棟に割振られ、とても快適に過ごしました。その後通学生にもなりましたが、高専生活はことのほか充実しておりました。皆さんも、この在校期間にあった授業、休み時間、部活、寮生活、体育大会、高専祭、高専大会、見学旅行など、さまざまなことが頭に浮かぶと思います。どうか何よりも、この高専生活で沢山のひとと出会ったことを思い出して下さい。

この高専は、青森の南部と津軽、岩手県北という方言がまったく違う三つの地域から集まり、皆さんは出会ったわけです。最初は言葉も通じなかったと思いますが、今はどうですか？全員が思いを共有できる大切な友だちとなっています。

これからひとりひとつの新しいステージに進まれるわけですが、この高専で出会った友人たちを大切にして下さい。時には壁におつかることもあるでしょう。そんな時にはご両親や友だちの顔を思い浮かべてください。一緒に悩み相談に乗ってくれる人が沢山いることを忘れないで下さい。

皆さんには無限の可能性があります。どうか健康に留意され、夢に向かって元気に羽ばたいてください。

勇往邁進

機械工学科5年 工藤 雄太

(黒石市立中郷中学出身)

16歳から5年間、八戸高専で生活を続けてきたわけですが、数え切れないほどの苦難に直面し、その数と同じ数だけ成長してきました。それは学校生活だけではなく、寮生活やプライベート、部活動など自分の人生の全てにおいてです。毎回なにかしらの選択をした後に、これが最適な選択だったのかと考えると、愚かだったと思うことが多々あります。しかし、今になってみるとその苦難を乗り越え、自己満足ではあるかもしれませんが成長できたと感じます。特に図書館の本を二年延滞してしまったことは、自責の念が凄まじいものであり、良い教訓となりました。こうした話が、八戸高専に入学してからは再三あったため、周りの友人や先生方には多大なるご迷惑をかけました。さぞ大変だったように思います。時間が許す限り、これからの人生で恩返しをしていきたいです。今も新たな苦難に直面していますが、選択の成功、失敗に関わらず、苦難というものは自分を成長させる良い機会だと思い、一先ずはこの苦難を乗り越えていきたいです。

最後に、熱心に指導してくださった教員のみなさま、共に過ごしてきたクラスのみなさん、そして最後まで面倒を見てくれた家族には感謝しています。今までありがとうございました。



卒業を祝して ～ 最善を尽くそう！ ～

電気情報工学コース長 松橋 信明

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、心よりお祝い申し上げます。

電気情報工学科で学んだエネルギー・エレクトロニクス・情報に関する専門的知識や学力は、ほとんどの分野で活用できます。すぐに役に立たないこともあるとは思いますが、必ずや何らかの機会に、問題解決の糸口になると信じております。そして、人生を歩む間には、いろんな壁に衝突することと思います。そんな時、5年間の高専生活での体験がきっと役立つでしょう。おそらく、どこでもやって行ける人間力を身に付けることができたのではないのでしょうか。この高専5年間で培った学力や人間力を、これからのそれぞれの立場で大いに活かして下さい。

そして、常に前向きな姿勢でがんばりましょう。でも、突進だけでは危険ですので、時々フィードバック制御をかけることも忘れないで下さい。さらにステップアップするために、最善を尽くして下さい。そうすれば必ず道は開けます。最善を尽くすことによって、自ら成長し、それが周囲に認められ、人生を豊かで幸福なものにしてくれると信じております。

最後になりますが、これまで育ててくれた保護者の皆様へ感謝するとともに、卒業生の皆様の今後のますますのご活躍とご健勝を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

卒業生へ贈る言葉 ～ 素晴らしい未来へのエール ～

電気情報工学科5学年担任 細川 靖

電気情報工学科第5学年の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。長かった5年間だったと思いますが、晴れて卒業の日を迎える事ができて担任としてとても嬉しく思います。思い起こせば、電気情報5年は始業式に帰国したメンバーが揃わない、波乱万丈のスタートでした。クラスに留学生が来てドキドキしたり、泣いたり笑ったりの前代未聞の体育大会だったり、間に合うかどうかの思い出深い高専祭だったり、卒研で殆どの学生が英語発表したり、皆の頑張りに驚かされて、本当に大人しいクラスと言われていたのか？と思うほどでした。今は、君達は「秘めた力」を持った素晴らしいクラスだと思っています。

卒業すると今後は自分自身で学ぶことが必要になってきます。エンジニアは一生勉強で、答えのない道を求めてゆくのは大変なことです。辛い時もあるでしょう。でもその時こそ、友人や、同僚、家族といった周りの方々のアドバイスを真摯に受けて、大切な人と困難を一緒に乗り越えるのです。さあチャレンジは始まりました。二十歳になったばかりの君達を作る未来、それが今後の日本を世界を造るのです。その若い力と志を高く持って、輝かしいキャリアを積み上げ、ぜひ後輩たちの手本となる素晴らしい先輩になって下さい。そしていつかその元気な顔を見せに高専へ来て下さい。君達の新たな世界での活躍を祈っています。

卒業を迎えて

電気情報工学科 情報コース5年 坂本 海斗
(東北町立上北中学校出身)

長かった高専生活が一瞬で過ぎ去ってしまいました。卒業を迎えて私は今、そんな心境にあります。思えば90分授業の導入、4学期制の導入、自主探究、発展学習期間・・・などなど環境の変化が著しい5年間でした。それらについて各々思うところはありましたが、変化に対応し学校生活を過ごしてきました。そんな誰もが経てきた出来事もあれば、校内行事や寮内行事、仲間達との大声では話せないあんなコトといった自分だけの思い出も数多くあります。5年生では、元來行事に消極的だった私たちとは思えないほどの時間をかけて、1つ1つの行事に取り組みしました。たくさんの記憶が呼び起こされますが、特に体育祭で起きたあいにくの天気での一悶着、さらにその後の延長戦は忘れられそうにありません。各組の皆さんには本当に感謝しても足りない程です。語りつくせばキリがありませんが、これらによって私たちが大いに成長できたことは言うまでもありません。

これから私たちはそれぞれの道に向かって進んでいきます。縁があれば、また何かのお世話になるかもしれないので、そのときはよろしく願います。名残惜しいですが、これまでお世話になった先生方、クラスの皆、支えてくれた沢山の方々へ謝意を伝えて結びの言葉とさせていただきます。

「大変お世話になりました。ありがとうございます。またいつか会いましょう。」



卒業を祝して

マテリアル・バイオ工学コース長 長谷川 章

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

入学式では、まだ幼さが残る皆さんでしたが、5年間の学生生活で心身ともにたくましく成長されたことを強く実感しております。高専生活の中では、学業や部活動を通じてクラスメートや先輩、後輩あるいは教職員から様々な刺激を受け、そして数多くの壁に立ち向かって今日に至ったはずです。その中で培ってきた「できること」その数と質がこれからの皆さんの人生をより豊かにする宝になります。これからも是非、自己研鑽に励み、より多くの宝を得られるよう精進してください。しかし、長い人生、挫折や失敗はつきものです。そんな時もあきらめずに努力を続ければきっと道が開けること、そして努力を続ける人には、きっと協力者が現れることを忘れないでください。

クラスで一緒に過ごしてきた仲間もこれからは就職、進学それぞれの道に向かって進んでいきます。それぞれの道により多くの素晴らしい人たちと係わりを持ち、その人たちから新たな事柄を学びとり、さらに大きく成長することを心から願っております。

卒業生の皆様の今後のご活躍とご健勝を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

卒業おめでとうございます

物質工学科5年担任 齊藤 貴之

卒業おめでとうございます。皆さんを1年生のときから授業などで見てきましたが、もう5年生、もう卒業という感じで、5年間が早く感じられます。あっという間の時間でも、皆さんがこの5年間で心身共に大きく成長したことも実感できます。保護者の方々も皆さんの成長を喜び、卒業をお祝いしていることと思います。

いつでも世の中は進歩しているため、高専で習った知識や技術だけでは対応しきれず、卒業後も新たに勉強することが大事になります。常に新しい知識や技術を吸収し、内にこもらず積極的に外へ出て行ってください。そんなとき、学生時代に苦労し、乗り越えてきたことが、きっと役に立ち、自信にもなるはずです。また、学生時代に一緒に頑張った仲間と助け合うことがあるかもしれません。この5年間の経験全てを活かし、新たな道を歩んで下さい。

一方で、勉強や仕事を頑張るには、心身共に健康である必要があります。大切に育ててくれている家族に感謝し、家族への恩返しをしたり、また、余暇を楽しんだりして、プライベートも充実させてください。勉強や仕事以外に、まずは健康的な生活を営むよう気を遣ってください。

卒業後も、健康第一で、良い一日、良い人生を送ってください。皆さんの活躍をいつも楽しみにしています。

5年間を振り返り

物質工学科5年 佐々木智哉

(南部町立杉沢中学校出身)

入学した当初は、5学年は私から見るととても大人で目指せるとは思うことができませんでした。そして、5年間なんてとても長く毎年の進級すらもできるか不安でいっぱいでした。

しかし思い返せば、1年時の体育大会でのC科優勝、クラス対抗球技大会、高専祭の屋台や夜祭、4年時の研修旅行、研究室での交流などの行事から、毎日の様々な授業、テスト週間、実験レポート、卒業研究などの辛く厳しい生活など、本当に暇になることがなく、実際生活しているとあっという間に5年間の生活が終わってしまいました。その中で、苦しく投げ出したくなる時もありましたが、そんな時に友人や先生方、親など多くの方々に支えられて物事に取り組むことができました。

また、5年間の中には、「こうしておけばよかった」「あれを続けておけばよかった」「あれに挑戦しておけばよかった」など悔いたこと、失敗したこともたくさんありました。当時はあまり感じませんでしたが、今になるといろいろ考えさせられます。私たちのクラスはそれぞれ個性が豊かな方で、お互い仲が良く協力して様々な困難に取り組み成功させることができ、5年間非常に充実した楽しい毎日を送ることができました。

最後に、C5の皆のこれからの活躍に期待すると共に、5年間指導して下さった先生方に感謝致します。本当にありがとうございました。



卒業、おめでとうございます

環境都市・建築デザインコース長 藤原 広和

卒業おめでとうございます。卒業生の皆さん、ならびに保護者、ご関係の皆さまには心よりお慶び申し上げます。

今振り返れば、あっという間の5年間だったのではないのでしょうか。

近年は阪神・淡路大震災、東日本大震災、そして関東・東北豪雨、熊本地震等、日本も大きな災害に見舞われています。復興・防災・減災は土木・建築技術者の重要な使命です。我々が仕事をするときに大切なことは、設計ミス、施工ミス、計算ミスをしないことはもちろんですが、それだけではありません。どんな仕事もチームワークが必要になります。今後、仕事をしていく上でとても大切なことだと感じるでしょう。

これから、技術者として、便利な生活、安全・安心な生活、健康で快適な生活の確立を目指し、仕事を進めていくことと思います。それらを実現するためには、新たな知識の修得、技能の体得、問題・目的・プロ意識を持った偏見のない態度、そして自己の向上を継続することです。これからの人生、いろいろなことに遭遇し、いろいろな人と出会い、多くのことを体験し、様々な困難・苦難を乗り越えていくことでしょう。信念を貫いて頑張ってください。

八戸高専卒業生としての皆さんの大いなるご活躍を祈念いたします。

卒業おめでとう

建設環境工学科5学年担任 矢口 淳一

5年間の高専生活を終え、無事卒業を迎えた皆さんに心からお祝いを申し上げます。皆さんが入学したのは、東日本大震災から1年が過ぎ、まだ復興も進んでいない平成24年でした。大震災からの復興や今後の防災を志して面接等で熱い思いを語られた皆さんが、これから実際に社会で活躍する入口に立ったことは感無量のものがあります。本校の卒業生であることに誇りを持ち、胸を張って一步一步前進してください。

21世紀も6分の1が終わろうとしています。今後世界は半世紀以上も経験してこなかったような激動の時代を迎える気配が濃厚です。このような時代に船出していく皆さんにとって、決していままでと同じように生きていける時代ではありません。この中で自分自身の人生を計画し、設計し、実現していくために、明確な目標とたゆみない努力を基礎にして、目標に向かって積極的にチャレンジしていくことが必要です。

最後に一言、担任として1年間皆さんと過ごしてきて、ギリギリにならないと教室に集まらない点が気になりました。いつも5分前に行動できるように準備しましょう。

皆さんの今後の活躍を大いに期待しています。

感謝

建設環境工学科5年 神山 史奈

(八戸市立第一中学校出身)

私達が入学してから、もう五年も経ちました。長いようで短い、けれどもたくさんの思い出が詰まった五年間でした。

多くの出会いと別れを経て、人生の厳しさを学びました。また、他学科からは「Zって大変だよな」と言われるほどの厳しい環境の中、共に助け合い、励まし合って乗り越えてきた仲間が人生の宝物です。

これから社会に出ていく中で、これらの経験はとても励みになるでしょう。建設環境工学科の先生方、低学年時のクラス担任の先生方、教科担当の先生方、本当にお世話になりました。五年間ありがとうございました。



平成 28 年度 卒業生・修了生の進路状況

就職担当幹事
機械システムデザインコース長 沢村 利洋

今年度の本科卒業予定者及び専攻科修了予定者の進路状況を下段から次ページにかけて示します。

本科卒業予定者は 156 名であり、卒業予定者の 37%（昨年度 46%）に相当する 57 名が進学、95 名が就職です。専攻科修了予定者は 39 名であり、修了予定者の 56%（昨年度 48%）に相当する 22 名が大学院に進学し、17 名が就職します。

本科生に対する就職求人活動は 2293 件（昨年度 2388 件）、専攻科では 1787 件（昨年度 1813 件）と、昨年度同様多く来ています。求人に来る企業の方のお話によると、これまで大学生しか採用していなかった企業も、高いレベルで理論と技術を有している高専生を採るようになってきており、この傾向は、次年度も継続するようです。また、表には出ていませんが、ここ数年、県内就職率が上昇しています。自治体が首都圏の企業を本社同様の給与や福利厚生で誘致してきたり、COC 事業で県内の優良企業を学生が学習したりした成果が出ているものと推察します。

本科の進学先で最も多いのは本校専攻科で、29 名（昨年度 40 名）と進学者の約半数を占めています。専攻科の進学先では、東北大学大学院が 16 名（昨年度 9 名）と昨年度同様最も多くなっています。各大学では、高専からの大学・大学院進学を歓迎しており、大学の担当者が本校を訪れ

て説明会を開催したり、大学でのインターンシップを受入れて下さったりしています。

就職を考えている方々、求人数・求人倍率が示すとおり、多くの企業が高専生を必要としています。しかし、必ずしも全員が一発で内定をもらっている訳ではありません。企業は、その学生が自社の職場にマッチして活躍できる学生かどうか面接で吟味します。勉強の出来不出来より、年配の方や知らない方など、様々な方と意思の疎通ができるかが重要視されています。また、高専生の活躍する仕事の特性として、新しいものへのチャレンジ精神も求める企業も多いです。

進学希望者は、全国からクラスで上位の優秀な学生が集まってくるということを念頭に入れて、早いうちから準備を始めてください。今年度も、かなりの学生が、第一希望を準備不足のため落とされています。

本校では、進路に関して、手厚いサポート体制が構築されています。担任、コース長（就職担当）、進学相談担当にご相談ください。また、学生自身が情報を得るための企業、大学、OBOGの説明会や見学会も年間通して開催されています。自分の興味だけに縛られず、幅広く世の中を見て、自己（他己）分析の上で、今の自分にとって最善の進路を探し出して下さい。

本 科	卒業予定者			進学者 (大学・専攻科)			就 職 者			そ の 他			求人数 人	求人倍率 倍
	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人		
機 械 工 学 科	41	3	44	14	1	15	26	2	28	1	0	1	675	24.1
電 気 情 報 工 学 科	29	9	38	11	4	15	18	5	23	0	0	0	716	31.1
物 質 工 学 科	18	20	38	9	10	19	8	10	18	1	0	1	418	23.2
建 設 環 境 工 学 科	25	11	36	7	1	8	16	10	26	1	0	1	484	18.6
計	113	43	156	41	16	57	68	27	95	3	0	3	2293	24.1

専 攻 科	修了予定者			大学院進学者			就 職 者			そ の 他			求人数 人	求人倍率 倍
	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人	男 人	女 人	計 人		
機械システムデザインコース	9	0	9	4	0	4	5	0	5	0	0	0	519	103.8
電気情報システム工学コース	9	1	10	8	1	9	1	0	1	0	0	0	552	552.0
マテリアル・バイオ工学コース	4	8	12	2	5	7	2	3	5	0	0	0	318	63.6
環境都市・建築デザインコース	6	2	8	2	0	2	4	2	6	0	0	0	398	66.3
計	28	11	39	16	6	22	12	5	17	0	0	0	1787	105.1

平成28年度 就職・進学先一覧

【就職－本科】

就 職 先	M	E	C	Z	計
株式会社 I H I		1			1
株式会社アイ・エス・エス				1	1
青森県				2	2
公益財団法人青森県フェリー埠頭公社				1	1
曙ブレーキ工業株式会社	1				1
アステラスファーマテック株式会社			1		1
エイト技術株式会社				2	2
株式会社 N H K アイテック東北支社		1			1
エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社				2	2
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー	1	3			4
株式会社 N T T ファシリティーズ東北		1			1
榎本ビーエー株式会社	2				2
荏原環境プラント株式会社	1				1
オークマ株式会社	1				1
大阪ガス株式会社				1	1
株式会社オリエンタルコンサルタンツ				1	1
キャノン株式会社		1			1
京セラコミュニケーションシステム株式会社	1				1
KDDI エンジニアリング株式会社	1			1	2
国土交通省関東地方整備局				1	1
国土交通省東北地方整備局				2	2
独立行政法人国立印刷局	1				1
サッポロビール株式会社			1		1
三洋化成工業株式会社			2		2
JX エネルギー株式会社 仙台製油所			1		1
JX エネルギー株式会社 中央技術研究所	1		1		2
JX エネルギー株式会社 根岸製油所			1		1
JX エルエヌジーサービス株式会社		1	1		2
JX 金属株式会社磯原工場	1				1
J N C エンジニアリング株式会社	1				1
J N C 石油化学株式会社 市原製造所		1			1
株式会社シミズ・ビルライフケア				1	1
新日鐵住金株式会社				1	1
住友化学株式会社三沢工場	2				2
セイコーエプソン株式会社		1			1
ダイキン工業株式会社	1	1			2
大日精化工業株式会社			1		1
TANAKA ホールディングス株式会社			1		1
中外製薬工業株式会社			1		1
DMG 森精機株式会社	1				1
株式会社デザインネットワーク	1				1
東海旅客鉄道株式会社	1		1		2
東京ガス株式会社	1				1
東京水道サービス株式会社			1		1
東燃ゼネラル石油株式会社			1		1
東北化学薬品株式会社			1		1
東北電力株式会社			1		1
東北発電工業株式会社	1				1
東洋インキ SC ホールディングス株式会社			1		1
十和田バイオニア株式会社	1				1
日信電子サービス株式会社		1			1
日本ゼオン株式会社			1		1
日本乳化剤株式会社			1		1
日本原燃株式会社	4	2	1		7
日本信号株式会社		1			1
日本リーテック株式会社		1			1
株式会社ネクスコ・メンテナンス東北			1		1
八戸市				2	2
八戸製錬株式会社 八戸製錬所	1				1
八戸セメント株式会社	1				1

平成29年2月24日現在

就 職 先	M	E	C	Z	計
東日本高速道路株式会社				1	1
東日本旅客鉄道株式会社				1	1
株式会社日立パワーソリューションズ		1			1
富士テクノサービス株式会社	1				1
フジテック株式会社		1			1
三沢エンジニアリング株式会社		1			1
株式会社三井化学分析センター			1		1
三井不動産株式会社		1			1
三菱地所コミュニティ株式会社				1	1
三菱電機ビルテクノサービス株式会社	2				2
株式会社メンバーズ		1			1
若築建設株式会社				1	1

【進学－本科】

進 学 先	M	E	C	Z	計
〔大 学〕 北海道大学				1	1
室蘭工業大学		1			1
弘前大学		1			1
岩手大学	1			2	3
秋田大学	2	1			3
茨城大学	1	1			2
宇都宮大学	1		1		2
群馬大学			1		1
東京大学		1			1
東京農工大学	1	1	1		3
東京工業大学			2	1	3
長岡技術科学大学		1			1
信州大学			1	1	2
豊橋技術科学大学			2		2
和歌山大学		1			1
首都大学東京				1	1
〔専 攻 科〕 八戸工業高等専門学校	9	7	11	2	29

【就職－専攻科】

就 職 先	AM	AE	AC	AZ	計
青森県警察				1	1
旭化成株式会社			1		1
エプソンアトミックス株式会社			1		1
オークマ株式会社	1				1
鹿島建設株式会社				1	1
国土交通省東北地方整備局				2	2
竹田設計工業株式会社	1				1
中央発條株式会社	1				1
月島テクノメンテサービス株式会社			1		1
DIC グラフィックス株式会社			1		1
東京水道サービス株式会社		1			1
日揮株式会社	1				1
八戸市				1	1
東日本旅客鉄道株式会社				1	1
株式会社放電精密加工研究所			1		1
株式会社 前川製作所	1				1

【進学－専攻科】

進 学 先	AM	AE	AC	AZ	計
北海道大学大学院			1		1
東北大学大学院	4	7	3	2	16
宇都宮大学大学院			1		1
筑波大学大学院		1			1
東京大学大学院			1		1
東京工業大学大学院		1	1		2

専攻科生 祝・修了

修了おめでとうございます

専攻科長 南 将人

専攻科修了、おめでとうございます。平成14年4月に開学した本専攻科は今年度で第14回目の修了生を社会に送り出す事となりました。専攻科は、本科5年間で学んだ専門知識を基に、幅広く周辺知識を吸収し、豊かな人間性・創造性を身に付けた人材育成を目指しており、「連峰型創造性教育」と呼び本校の大きな特色となっています。専攻科の教育内容はさらに充実した感じがあり、平成27年に本科と伴に1専攻4コース制に改組されて初めての修了生となります。地域企業との共同教育や国際交流等、その貴重な経験を通じて、学外との関係がより一層深まった事と思います。フランスのリールA技術短期大学等の海外提携校で実施された長期インターンシップに多くの学生が参加し、異文化に触れて、自己の成長に役に立った事と思います。また海外派遣と同時期に実施したエンジニアリングデザインに参画した学生は、地域企業や機関の支援を頂き、様々なテーマに積極的に取り組んでおりました。

また、特別研究発表会は本年度から会場を校内に移して、合併教室でのショートプレゼン、創立50周年記念ホールでのポスター発表そして特別研究の優秀賞の表彰式が行われました。校内での実施という事で本科生も聴講・参加し易くなりました。ショートプレゼンは、ほぼ必修化しつつある英語で全員が発表を行いました。さらに専攻科からの大学院進学者数は、有力大学の大学院を含み22名(56%)が大学院へ進学します。就職についても昨年同様に求人倍率が高くなっており、有力企業や公務員内定となりました。

この様に、専攻科での挑戦的行動力に溢れた皆さんの今後の活躍を祈念すると共に、後輩への良い刺激・目標となった事に感謝します。本科5年間に専攻科2年間の計7年間の学生時代に出会った教職員や友人、その他多くの人たちとの体験は貴重な財産となります。修了後は各自の道を進む事となりますが、八戸高専で学んだ事に自信と誇りを持ち、専攻科で学んだ知識を大いに活かして下さい。

最後に、保護者の皆様の御支援に感謝すると共に、皆さんのさらなる御活躍と御健勝を心から祈念して、お祝いに代えさせていただきます。

専攻科修了を迎えて

産業システム工学専攻
環境都市・建築デザインコース2年 岩間 浩司
(八戸市立大館中学校出身)

高専に入学してから7年、長いようで短い高専生活が終わりを迎えようとしています。私はこの7年間で、多くのことを学びました。特に専攻科に入学してからの2年間は、充実しており、とても濃い時間だったと感じています。1年次の夏季には、インターンシップとして東北大学と北海道大学の研究室を見学させていただきました。私はこの時まで、研究とはただ与えられた課題をこなしていくだけのものだと考えていました。しかし、大学の学生の方々は、自ら率先して研究に取り組んでおり、とても良い刺激を得ました。また、自分の進路を考える良い機会となりました。1年次の秋季には学会論文を提出し、冬季にはその論文の発表を行いました。発表の際には、周りには大学院生や教授の方が多く、その中で発表することはとてもいい経験になったと思います。2年次は自分の進路を決める重要な期間になりました。結果として、志望大学に推薦合格することができました。これは、指導教員である藤原先生の日々のご指導のおかげだと思います。大学院進学してからは、高専で得た知識を活かして、さらに研究に取り組もうと考えています。また、専攻科の2年間は勉学・研究だけでなく、楽しかった思い出が多くあります。夏から秋にかけては、朝野球チームを作り、本科生と試合を行いました。いままでは、本科生と専攻科生はあまり関わりをもっていませんでした。しかし、この朝野球を通して本科生との交流を深めることができました。冬季には七戸で開催される雪合戦の大会に参加しました。毎回のごとくダークホースと呼ばれていましたが1度も入賞することはありませんでした。このように、地域で行われる行事にも参加することにより、地域との連携もとれていたと思います。専攻科で過ごした2年間は辛いことも多くありましたが、その倍以上に楽しいことがありました。この2年間は私のかけがえのない時間になったと思います。

最後に、指導教員の藤原先生をはじめ、今までご指導していただいた先生方、先輩、後輩に感謝申し上げます。ありがとうございました。

専攻科特別研究発表会表彰者

【最優秀賞】 特別研究最優秀賞を受賞して

産業システム工学専攻 電気情報システム工学コース2年 石橋 諭

(八戸市立下長中学校出身)

最優秀賞を受賞できたことに、正直驚いています。周りの友人たちの発表も、流暢な英語、分かりやすいスライド構成など、どれも素晴らしいものだったので、私なんかは頂いて良いのかと思いますが、嬉しいです。

私は、勉強でも研究でも遊びでも何でも、楽しんで、好きになって取り組むことが一番重要だと考えています。私が約三年間行ってきた研究も、終始楽しみながら進めてきました。高専を卒業しても今の研究を少し続けたいくらいには楽しいです。もちろん、論文の締め切りや学会発表に追われているときは大変でしたが、それはそれで何となく面白いものでした。知らない土地へ学会に行くのも、刺激が多くて面白いです。私の拙文を読んでくださる方の中に、勉強・研究等が辛い、と感じている方がいるなら、ぜひ自分なりの楽しみ方を見つけてみてほしいです。

最後になりますが、ここまで研究を続けてこれたことも、最優秀賞を受賞できたことも、私一人の力ではなく、指導教員の工藤先生や何度も練習に付き合ってくれた友人たち、教員の方々、そして多くの研究成果を残してくださっていた先輩方のお陰です。本当に感謝しています。ありがとうございました。来年度からの大学院でも、どんなことも楽しんでいく姿勢を忘れずに頑張っていきます。

【優秀賞】 研究発表で得たもの

産業システム工学専攻 マテリアル・バイオ工学コース2年 高橋 侑佳

(八戸市立明治中学校出身)

研究室に配属されてから3年半が経とうとしています。そのうち専攻科生として過ごした2年間の研究生生活は、特に中身の濃いものでした。

専攻科生は、对外発表に参加できる機会がたくさんあります。私はこの3月に参加する学会を含めると、高専生活の中で5回の对外発表に参加したことになります。発表の度に必要な結果や資料を用意することは労力が要りますし、準備に専念するために多少の我慢も強いられます。しかし、参加してみると楽しいことや新しい発見も多々ありました。他の大学の研究を見聞きできるのも新鮮ですし、様々な先生に出会うこともできます。留学生の方も多く参加する学会では、つたないですが日本人同士ではなかなか出来ない英語での討論に挑戦することもできました。また、大学院へ進学した先輩と話す機会もあり、モチベーションを高められました。学会への参加は、発表・準備・出会いを通して自分が成長できるのはもちろん、私の場合は進路を考える材料にもなったため、積極的に参加して良かったと思っています。

今まで、様々な方にお世話になりました。最後に、この紙面を借りて、多くの方々から丁寧に行き届いたご指導を賜ったことに、厚くお礼申し上げます。なかんずく、校長先生や本間先生、同じクラスで苦楽を共にしたH27ACの皆さんには、本当に感謝しています。ありがとうございました。

【優秀賞】 挑戦すること

産業システム工学専攻 マテリアル・バイオ工学コース2年 鳥谷部綾乃

(七戸町立七戸中学校出身)

特別研究発表では信じられないほど緊張してしまい、本番のことはほぼ記憶にありません。しかし終わってみると、先生方からのお褒めの言葉と優秀賞を頂くことができました。このことには今でも驚きを隠せません。

私は研究活動において優等生ではなく、特に英語発表においては散々な結果に終わることが多々ありました(専攻科生は記憶に新しいと思います)。しかし、何がいけなかったのか、何のために発表していたかをその都度よく考え、英語発表に挑戦し続けました。その経験から、耳を傾けて下さる方へ自身の研究を伝えるため、英語の原稿よりも、伝える気持ちを忘れないことが大切だと気づき、その気持ちだけは忘れず本番に臨むことができました。これが今回の優秀賞へ繋がったのではないかと思います。

受賞に関しては嬉しく思う反面、それに値するだけの功績であったか不安にも思う部分もあります。自分の自信のためにも、周囲の方々からのご期待に沿うためにも、ますます精進し、この経験を八戸高専及び大学院での今後の活動へ繋げてゆきたいです。

後輩の皆さんは、是非色々なことに挑戦してみてください。苦手なことにも挑戦し、努力や経験を積むことに意味があり、努力は必ず自分へ還元されると思います。応援しています！



就職・進学体験記

就職活動

電気情報工学科5年 **小野 雄大**
(二戸市立福岡中学校出身)

私が就職を考え始めたのは4年生のインターンシップでした。インターンシップの募集の中から自分の興味のある分野や、働きたい地方などを考慮して選んでいました。

いざ就活を始めると、まずは履歴書で躓きました。また、面接の際にはポスターを使って自己PRをすることがあり、自分が高専生活でPRできることがなくてとても大変でした。

これから就職を考えている学生は、まず自分の働きたい職種や企業を探すことが大事だと思います。また、面接時には自己PRをする場面があるかと思います。そこで、これからの高専生活で勉強や部活だけでなく、趣味や日々の生活でも他人に誇れるようなことが一つでもあると強みになります。今からでも何かに取り組んでみてください。

来年度就活をする皆さん、是非第一志望の企業の内定を取れるように頑張ってください。

専攻科進学

物質工学科5年 **竹原万莉那**
(八戸市立東中学校出身)

私はもともと大学に編入し、学士の資格を得たら就職しよう思っていました。しかし、4年生の冬になり、できるだけ長く勉強したい、大学院まで進学したいと考えようになりました。そこで、今まで通り自宅から通え、大学院まで進むことを考えると経済的にも魅力を感じ、専攻科進学を決意しました。そして、幸いなことに推薦枠を頂けたので、本来受験勉強をするはずの時期に自分のやりたい勉強や研究に打ち込むことが出来ました。

専攻科受験を通して、受験の準備に早すぎるということはないと感じました。私は英語が苦手とTOEICの点数が低く、直前に苦勞してしまいました。大学院の受験の時にはこのようにならないよう、今のうちから準備しておこうと思います。

最後に、専攻科進学にあたって私の支えになってくださった家族、友人、先輩方、そして先生方すべての人に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

大学編入体験記

建設環境工学科5年 **阿部 恭征**
(東北町立上北中学校出身)

北海道大学編入を決めたきっかけは、先生の紹介でした。もともとは東北大学編入を希望していましたが、TOEICの点数に不安があったため断念し、専攻科進学を考えた折、先生から北海道大学の特別選抜枠があることを教えて頂き、北海道大学を受験することを決めました。試験内容は、小論文と口頭試問（面接）でした。合格こそしたものの、日々の忙しさを理由に、対策を後回しにしたせいで、十分とはとても言えない出来でした。来年度大学編入を考えている4年生の皆さん、皆さんが思うより5年生は時間的にも気持ち的にも余裕はありません。試験日までのスケジュールをしっかり行い、日々のチャンスを逃さないように頑張ってください。応援しています。

最後になりますが、私が北海道大学へ編入できるのは、わがままを受け入れて支えてくれた家族、いつでも相談に乗って下さった先生方、励ましてくれた友人のおかげです。本当に感謝しています。

大学院試験体験記

産業システム工学専攻
機械システムデザインコース2年 **尾崎 成**
(八戸市立大館中学校出身)

私は東北大学大学院環境科学研究科専攻科推薦入学特別選抜（高等専門学校）試験を受験しました。大学院進学に向けはじめに取り組んだのは研究室訪問でした。少し訪問時期が遅く、3月、4月、5月と3度志望する研究室を伺いました。研究室訪問では、その研究室の雰囲気や研究内容を知ることができ非常に有意義です。また、その後の勉強に対するモチベーションも上がります。多少の出費はありますが、自分の将来のためと考えると何度でも何う価値はあると思います。

私の推薦試験の内容は、英語読解を含む小論文、研究プレゼン、面接の3つでした。小論文は、過去の試験テーマを元に自分の考えをまとめ、プレゼンは自身の研究に対するスライドを作りました。どちらも先生方に何度も添削していただき、そして何度も練習をしました。

機械工学から分野が変わるため不安もありましたが、自分が大学院に進み何をしたいのか、そこから先の人生をどのようにしてゆきたいのか深く考えるよい機会だと感じました。私は面倒くさがり屋な性分でしたが、出来ることなら物怖じせず、なんでもやってみるべきだと思います。受験は大変ですが、その過程で多くのことを学べます。大学院進学を考えている人は頑張ってください。応援してます！

退職するにあたって //////////////////////////////////////

学生・教職員が生き活きる 高専を目指して

校 長 岡田 益男

平成23年4月に赴任して、3月31日で定年を迎えます。八戸高専に赴任し、学生と教職員の皆様はどうしたら生き活きできるかを、私のテーマとして6年間で過ごして参りました。

八戸高専は就職率100%を掲げ、学生が頑張っている姿に、まず、多くの企業を学生に知ってもらうために、企業内容説明会を開催することとしました。平成23年度の65社参加から、平成28年度の113社の参加と順調に参加企業が増えました。これも卒業した先輩の活躍があつてのことと存じます。本校は優秀な学生を多いなかで、平成23年度の進学率は34%程度であり、全国平均より低い状況でした。また、専攻科生で大学院の進学は2、3名でした。多くの学生が進学についての現況を認識していなかったようで、各学年を対象としてキャリア教育を実施しました。その結果、進学率は平成27年度に43%まで増加しました。専攻科についても、東北大学の大学院に高専学生の為の、推薦入学を開始してもらい、平成28年度には16名が合格、進学率は55%となりました。これら全て、多くの学生の努力と保護者の皆様のご支援の賜物で、敬意を表したいと存じます。

平成25年度には創立50周年を迎え、関係各位から多大なご寄付をいただき、170名が収容できる50周年記念ホールが完成しました。あらためて、感謝申し上げたいと存じます。

平成27年度に学科再編と4学期制の導入を開始しました。4学期制においては、自主探究学習が開始され、全国51高専のモデル校となっております。自主探究学習について、成果をポスターとして人前で生き活きと説明する学生の姿に、「新たな学生の素晴らしい一面を発見できた」など感嘆の声が多く上がりました。4学期制、自主探究学習についてはこれからの展開が期待されます。

最後になりますが、6年間にわたり学生、教職員、保護者の皆様方から公私にわたって頂いたご厚情の数々について感謝申し上げたいと存じます。有難うございました。皆様のご多幸を祈念申し上げます。

ありがとうございました。

環境都市・建築デザインコース教授 今野 恵喜

大学の恩師に導かれ、八戸高専に赴任してから、この3月で41年間勤めたことになります。

この間、サッカー部顧問、各種委員会委員、3年から5年までの担任、専攻主任、学生主事補、寮務主事補、寮務主事、建設環境工学科長、空間構造デザイン系長、2010デザコン企画委員長、総合情報センター長、相談室長などを経験させていただきました。また、授業では、測量やコンクリート構造等の実験実習指導に始まり、都市、地域、交通等の計画分野を担当してまいりました。

その中からいくつか思い出をひろいますと、まず、全国高専サッカー選手権大会における2度（平成5、6年）の準優勝があります。選手たちの個々の努力、試合を重ねるごとに良くなるチームワークに感動し、顧問として関われたことに幸せを感じました。

次は、2010全国高専デザインコンペティションを東北で初めて本校が主管したことです。創造性に優れた作品の数々の発表と交流、本校の全校を挙げての参加と、「もったいない」をメインテーマとするデザインの世界が広がった大会でした。地域の方々、本校に関係する皆様の大きな力が大成功に導きました。

さらに、相談室の行事で1年生全員を対象とする「話してみよう！1分間」です。放課後に懇話室で相談室担当教員が個別に面談するものです。平成23年、当時の下館看護師の提案を受けて実施したことに始まります。話す間に目がうるうるしてくる学生もありまして、こちらまでウルウルしそうなこともありました。相談の雰囲気を感じてもらい、少しは相談室の敷居を下げる事ができたのではないのでしょうか。

41年の時間が流れたわけですので、いろんなことがありました。人間万事塞翁が馬の心境です。

最後に、関係の皆様のご支援・ご指導に感謝いたします。そして、八戸高専の今後ますますの発展を祈念いたします。

新任教職員紹介

①Name Michael J. Morris

②Birth Place Pembroke, Ontario, Canada

③Former job Hachinohe Kosen, Hachinohe Kogyo Daigaku, Michael's English School, English Teacher.

I joined the Liberal Arts Faculty, English Department on November 1st, 2016. Before that I worked part-time at Kosen for 16 years. I came to Hachinohe 23 years ago, as an English conversation teacher. My focus in teaching is how to get students more active in class, speaking more and not worry about making mistakes. My hope is that by being a full time teacher, that I will be able to connect more with the students, other teachers and staff members and help make Hachinohe Kosen a more international and outward looking school.

平成28年11月1日付けで総合科学教育科に着任いたしました。英語を担当します。

23年前に八戸に来ました。非常勤講師として、16年間本校で勤めていました。

私は学生の皆さんが間違いを恐れずに積極的に英語を話したいと思うような授業をしたいです。

また、常勤として働くことで生徒や先生方とより深い繋がりを持ちたいです。八戸高専が世界に目を向ける国際的な教育現場になるように努めていきたいと思います。

不慣れな点も多く、今後色々とお面倒をおかけすることがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

見学旅行

建設環境工学科4年 山崎慎之介

(八戸市立下長中学校出身)

今年の研修旅行はクラスで希望の多かった奈良・京都方面への研修でした。奈良では「奈良町にぎわいの家」を訪れ、市役所都市整備部の方から伝統的な町家の保全・活用についての取り組みを説明していただきました。伝統的なまちなみや建物の保全には、行政と市民が一体となりたいへんな努力をしていることがよくわかりました。また、京都の山崎にある「聴竹居」は京都大学建築学科を開いた藤井厚二先生の自宅で、太陽や風などの自然をうまく活用しながら快適な住環境を実現した今でいうエコ住宅でした。80年前にいまの住宅においてもヒントになるアイデアが多く感心しました。

また、今回の研修では法隆寺、平等院鳳凰堂、東福寺などの寺院を先生の説明を聞きながら見学し、日本建築の奥深さや面白さを知ることができました。また、借景を利用した慈光院や庭園がすばらしい詩仙堂は感性を研ぎ澄まされるものがありました。



研修旅行中は担任の馬渡先生と庭瀬先生が僕たちが迷ったり困ったりすることがないように早めに予定を知らせ、すぐに対応もしてくださったのでスムーズに行動でき楽しむことができました。



インターンシップで学んだこと

建設環境工学科4年 野辺地 由

(八戸市立長者中学校出身)

私は東京ガス株式会社と株式会社シミズ・ビルライフケアに各社5日間お世話になりました。前社での研修内容は会社の施設・各業務の説明・現場見学、後社での研修内容はビルマネジメント業務全般にまつわる会社の説明・現場見学です。両社ともに午後は現場見学だったので、リアルな現場での仕事の流れを近くで見ることが出来ました。インターンシップを通して私が学んだことは、仕事はただ単に与えられたものだけをこなすのではなく、次の段階を考慮してより効率良く仕上げ、またお客様のことを第一に考えたサービス提供するためのチャレンジ精神が必要であることです。仕事においてもどんな事でも、自分から積極的にその事に関心を持たなければ何も学べるわけがなく、自分の全力を尽くして行けば、仕事の意味や改善点等がおのずと見えてくる。全力でやったからこそ何かを学べるし、次にすべき事がわかってくるのではないだろうか。そのように行動するためにもしっかり目標を定め、自分に対して満足・誇りを持てるように行動しなくてはならないと実感しました。他にもインターンを通して、視野を広げられ、また自分のこれからの課題を発見出来ました。例えば、1、状況対応能力 2、コミュニケーション能力を身につける 3、体力と忍耐力 などが必要不可欠だと思いました。また、研修中の昼食や全研修後の会食などでは他高専・大学生の方々と親睦を深め、充実した研修期間を送れました。インターンシップに参加して、色々とお教えて頂いたことは大変貴重となりました。この経験を忘れず、今後に生かしていきたいです。

教務関係の制度が 一部改正されます

教務主事 武尾 文雄

平成27年度から始まった4学期制も2年目を終えました。4学期制では、約2ヶ月間に科目数を絞って集中して学習することになり、授業以外での自学自習が前提となる「学修単位」が導入されています。宿題はもちろん、授業の予習、復習を行う習慣を身に付け、毎日、少なくとも2時間以上の学習時間を確保してください。授業科目それぞれにはシラバスが作成されています。最初の授業で説明されるほか、本校のホームページからいつでも見ることができます。シラバスには授業の目的や評価方法などのほか、毎回の授業の内容が示されています。授業の進捗を確認しながら予習などにも活用してください。

さて、平成28年度から教務に関係する制度の一部が改正されています。また平成29年度にかけて新たに規則が改正されます。既にお知らせしていることも含め、改めて主なものの概要を以下に記します。特に3、4は留年した場合の単位認定などに関する大きな変更となりますので留意してください。

1. 発展学習選択科目を含めた進級

昨年の始業式にもお知らせしたとおり、成績判定会議で進級に必要な単位数に満たなかった場合、その時点で履修している発展学習選択科目で合格と判定された単位数を合算した単位数が進級規定を満たす場合には進級が認められます。ただし正式な発展学習選択科目の単位認定と学年の課程修了認定は、進級後の6月頃に行われる春学期成績会議となります。これに伴って平成28年度から第5学年を除く特別再試験が廃止されました。

2. 年度途中での卒業認定

5年生で卒業研究の単位を修得しながら留年となった学生が、留年した年度の夏学期までに修得した単位で卒業要件を満たした場合、9月末での卒業を認定することがあります。

3. 留年した場合の取り扱い

現在、1～3学年で留年した場合には全ての科目を再履修しなければならない制度になっていますが、平成29年度からは4・5学年と同様に合格

となった単位は認定され、不可となった科目を再履修することになります。再度勉強したい場合には、合格となった科目を再履修することもできます。なお、自主探究は必ず再履修し合格することが必要です。

4. 留年した年度における先行履修

前項により、留年した年度には履修する科目が少なくなり、空き時間ができることになります。平成29年度から、この時間を利用して自コース（学科）の1学年上のクラスで開講される科目（上位学年科目と呼びます。）を履修し、単位を修得することができるようになります。これを「先行履修」と呼びます。先行履修で修得した単位は年度末に認定されますが、留年している学年での進級判定のための通算修得単位数には加えられません。

留年した場合には、前年度に不合格となった科目を必ず再履修しなければなりません。先行履修は、あくまでも再履修科目と時間割が重複しない空き時間の中で行うものですので、新学期の時間割が発表された後に履修したい科目を決め、速やかに履修願を提出することになります。

先行履修できる科目にはいくつかの条件がありますが、主なものは以下のとおりです。詳細については学級担任あるいは入試・教務係へ問い合わせてください。

- ①単独の学期で完了する科目であること。
- ②履修に必要な下位学年の科目（内容・安全の面から必要な科目が指定されます。）を前年度末までに修得済みであり、また履修に必要な上位学年の科目を履修していること。
- ③先行履修できる科目数は再履修科目を含め週20時間以内（特活は除く。）であること。

なお、先行履修願を提出しても、上記の条件に適合しない場合や設備等の問題から受け入れできない場合には、履修を認められないことがあります。

以上の改正は、万が一、留年となった場合にも勉学への意欲を失うことなく卒業してもらえるようにすることが主な目的です。しかし、本校の入学試験を突破した皆さんなら、日々の自学自習を継続すればそのような事態には至らないと思います。進学や就職など、本校卒業後の自分の進路目標を定め、その実現に向けて頑張ってください。

自己と他者の存在の尊重

学生主事 河村 信治

全国的に、学校でも一般社会でも、いじめやハラスメントによる深刻な事件がしばしばニュースにとりあげられ、社会問題として注目されています。平成25年には国の「いじめ防止対策推進法」が制定されました。現在のいじめの定義は、一定の人的関係にある他者による心理的または物理的な影響を与える「行為」であり、その行為の対象になった人が心身の苦痛を感じている、というものです。いじめによって被害者の生命、身体または財産に重大な被害が生じる重篤な事態になれば、とりかえしのつかない悲劇です。そこまで至らなくとも、物理的な暴力のみならず、さまざまな態度や言葉によって存在を脅かされ、傷つけられた心はすぐに回復できません。こうした「行為」の罪に対して、社会全体で意識を高め、小さな兆候であっても、これを見逃したり過小評価したりせず、協力し合って防止しよう、というのが「いじめ防止対策推進法」の理念です。これに則って、本校でも平成26年に「いじめ防止等基本方針」が策定されています。

本校でも、ネット上での個人へのいやがらせ、誹謗中傷などの問題は毎年何件か発覚し、厚生補導の特別指導対象となっています。多いのは、ツイッター等の公開されているSNSに、無自覚に相手が特定できる内容で悪口を書き込んでしまったり、直接個人攻撃したり、という事案です。軽重を問わず、つらい思いを感じていたら、一人で抱え込まずに誰でも良いから相談してください。そして相談された人は、自分たちだけで判断し解決しようとせずに、相談室か親しい先生などに必ず伝えてください。

加害者側が認めにくい「正義感によるいじめ」というものもあります。これは何らかのミスや失言があった人に対して、執拗に糾弾したり、行為の批判に留まらずその人格を否定したりすることによって、反省を促すというより精神的にダメージを与えることをいいます。こうした行為はしばしば集団や匿名でなされることもあり、主謀しなくても、便乗したり許容したりすることはいじめにあたります。したがって、いじめは個人の性格

とか、ある種のハラスメントのような立場の力関係に関わらず、だれでも加害者にも被害者にもなり得る行為の問題である、ということです。こうした行為の罪について認識し、これを無くしていかう、というのが「いじめ防止」の理念であるといえます。

無自覚な加害者にならないためには、人の生命や存在の尊厳への、正しい意識が必要です。人を傷つける「正義」が横行し、とにかく他者に非寛容な世の中になるのは、個々の人の生命や存在が脅かされる不安感や自信の無さが社会全般に高まっている状態なのかもしれません。自己の存在に自信が持てないとき、人は傷つきやすくなったり、逆に人を傷つけやすくなったりするものです。ネット上での「炎上」や、民族差別を助長するヘイト・スピーチなども同根の問題です。

そして加害者にも被害者にもならないためには、「得手不得手はあれ課題解決能力やコミュニケーション能力を高め、良好な人間関係を築く力を養う。」「行為の非は厳しく批判しても相手へのリスペクトは失わない。」「どうしても仲良くするのが難しければ、少し距離を置く。」「・・・といったことの人間関係に必要なソーシャル・スキルの問題であるといえます。

2月3日学年修了式の後に、本科1～4年生と専攻科1年生全員を対象に、『命の授業』講演会を開催しました。講師の腰塚勇人氏は、ご自身の絶望からの復活の体験をもとに、自分と他者の存在の大切さとそれに向き合う態度や行動について、力強いメッセージの発信を『命の授業』として全国で精力的に続けておられます。その熱いメッセージが、体育館一杯の700名あまりの学生と教職員に届いたものと思います。表に出せずひとりで悩んでいる、人知れず傷ついている人の気持ちを慰め、勇気を与え、あるいは心無く人を傷つけそうになっている人にとって戒めとなり、お互いに希望を持って生きやすい雰囲気が醸成されることを期待します。

そして学生の皆さんがさらに明るく前向きに新年度を迎えられるよう祈っています。



より良い北辰寮に向けて

寮務主事 中村 重人

4学期制の導入に伴い、昨年度は秋学期や発展学習期間の寮運営など多くの変更を行いました。その反省を踏まえ、今年度もより良い北辰寮とするため種々の変更を行ってきました。例えば、秋学期や発展学習期間は、自分の学習計画に基づき自己管理のもとに、平日でも自由に外泊をとれるようにしました。一方で、給食については、秋学期は食券制としましたが、多くの学生が給食を取らずに健康的な食生活をしていませんでした。そこで、発展学習期間は通常学期と同じ欠食方式に戻しました。来年度は給食業者との契約を更改（入札による）しましたので、細部を変更いたします。詳しくは別途ご連絡いたします。

今年度は、物件紛失（盗難等）の多発、女子寮への男子学生の侵入があり、寮としてのセキュリティや、寮生自身の自衛に対する甘さが露呈いたしました。ご心配をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。両案件ともほぼ落ち着きを取り戻しております。寮としての対応ですが、まだ防犯カメラを入れていない棟への追加、B棟（女子寮）のベランダへの侵入者防止の防犯ネットの設置、自分専用小型ロッカーの貸与、寮生の防犯意識の醸成など行っていく予定です。

来年度から男子学生の全寮制が廃止され、男子の入寮希望者が減少します。一方で、女子学生の入寮希望者が増え、S・B棟だけでは足りなくなったため、高専機構にE棟の女子棟化を求めましたが、未だめどが立ちません。そこで、来年度は、N棟を臨時に女子棟に変更します。セキュリティ関係など改装を施しますが、臨時であるためご不便をおかけすると思いますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

その他、学寮宿日直の変更など寮運営全般についても種々の改革を予定しております。北辰寮が寮生にとって住みやすい環境となるよう来年度も努めてまいりますので、ご理解、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

寮生活のあり方について思うこと

学寮総代 今泉 尚也

（十和田市立四和中学校出身）

皆さん、初めまして。八戸工業高等専門学校北辰寮総代の今泉尚也です。学寮選挙の際は、多くの寮生に信任していただき大変感謝しています。私は、多くの信任をいただいたからには、皆さんの学寮生活が今まで以上に活気に満ち溢れるように、その活動や行事の先頭に立ち頑張っていく所存です。

さて、来年度は、N棟が女子棟になるに伴い寮内環境が様々変化していく予定です。寮生の皆さんには、これまで以上に学寮に対して積極的な協力と貢献が必要です。今から、自分に何ができるか考えておいてください。

さて、今年度を振り返れば、寮内では多くの盗難事件が発生し、不安な面もありました。しかし、そのような中でも寮内の活動や行事に関しては、皆さんの献身的な協力のおかげで、例年通り実施できました。来年度は、寮生会執行部を中心に、これまで以上に積極的に行事を「寮生の自らの力」で実行できるようにしたいと思っています。その実現のために、私は、昨年12月に福島高専で開催された東北地区高専学生リーダー交流会に参加してきました。そこで、他高専の寮生会にもネットワークができましたので、このネットワークを大いに活用し、学寮の様々な課題を解決できるように仕事をしていきます。改めて皆さんの協力をお願いします。

15歳で親元を離れた皆さんは、同学年の仲間や年上の先輩たちと、共同生活を送ってきました。この経験は、実に貴重な経験です。学寮は、皆さん一人一人の個性を育み、人格形成、自立と自律、社会生活への適応性が育成できる唯一無二の場所ですので、目標や意識を高く持ち、寮生自身が志を持ち行動することが大切です。何事も他人事ではなく、自らの「積極性」を大事にして欲しいと思います。来年度は、北辰寮の寮生会と協力して、より過ごしやすい北辰寮と一緒に作っていきましょう。

第2回（平成28年度）自主探究ポスター発表会および第1回自主探究－卒業研究連携ポスター発表会

4 学期制実施部会 高橋 要

平成28年11月8－10日の3日間にわたって1年生～3年生のポスター発表会が、本校体育館にて開催されました。今年で2回目になりますが、模造紙大（A0版）の大きな紙を印刷できるプリンタが2台導入された効果で、美しい仕上がりのポスターが去年より多くなりました。

特別審査員として文部科学省審議官 松尾泰樹様（代理：専門教育課長 浅野敦行様）、高等専門学校機構理事長 谷口功様をはじめ12名の方々を迎え、また、3日間で延べ809名の方がご来場くださり、投票してくださいました。

今年度から4－5年生を対象とした「自主探究－卒業研究連携ポスター発表会」を創設し、11月11日に開催しました。学外に公開はしませんでした。各学科（コース）の教員による審査が行われました。

以下に、両ポスター発表会の上位入賞者を掲載します。

<校長賞>

E 3-46 バーニャ（第3学年最優秀賞、審査員特別賞も同時受賞）

<第1学年 最優秀賞>

L 4-41 森田菜々子（審査員特別賞）

<第1学年 優秀賞>

L 1-31 松川 和磨
L 3-12 石川 大世（審査員特別賞）
L 3-10 水口 広太（審査員特別賞）
L 3-06 小豆嶋隼崇
L 3-35 佐藤梨花子
L 4-24 下沢 舞優
L 3-16 沢井 一将
L 4-12 大澤 士竜
L 3-11 柳沢 啓斗
L 3-26 千葉 史瑛
L 4-13 小倉 直弥
L 4-38 長畑 冨

<第2学年 最優秀賞>

Z 2-02 赤坂 あや（審査員特別賞）

<第2学年 優秀賞>

C 2-20 立花 呼人
M 2-38 山本 貫太
C 2-12 佐々木瑚太郎
Z 2-33 中村 晴菜
Z 2-14 織笠 歩夢
C 2-37 渡部 雅（審査員特別賞）
M 2-21 鈴木 智尋（審査員特別賞）
C 2-03 太田 千紘
C 2-08 京谷 悠里
C 2-25 中野 広大

<第3学年 優秀賞>

M 3-30 西館 嗣海
C 3-22 住吉希良莉
E 3-25 杉野森恵衣
Z 3-04 小笠原舜太
C 3-42 横浜 希
M 3-10 工藤 大平
C 3-17 佐々木彩夏
M 3-12 黒澤 俊祐
C 3-13 小山 浩亮
E 3-10 尾崎 大地（審査員特別賞）

<第3学年 審査員特別賞>

C 3-02 市川 夏音

<第4学年 奨励賞>

M 4-10 新藤 大樹	M 4-20 中村 佑
M 4-29 曲田 航平	M 4-33 安村 祐哉
E 4-29 佐賀 健志	E 4-28 小清水麻衣
E 4-16 新山 大地	E 4-19 松元ほの香
E 4-13 出貝 綸規	C 4-09 迫田 泰斗
C 4-20 三浦 志織	C 4-32 久保 遥名
C 4-35 新毛 実結	C 4-36 関 淑楓
Z 4-05 今泉 尚也	Z 4-08 蛭名 優
Z 4-19 栗澤 佳穂	Z 4-35 浜山 千佳
Z 4-36 宮崎 瑠南	

<第5学年 奨励賞>

M 5-05 小笠原直人	M 5-20 陣場 優貴
M 5-21 杉澤 勇紀	M 5-36 原 佳希
E 5-02 蝦名 希一	E 5-22 上井 公介
E 5-23 大坂 健悟	E 5-37 道上 和馬
E 5-38 山下 千尋	C 5-03 大久保里穂
C 5-33 小泉友貴紀	C 5-13 島守 日菜
C 5-24 平井 東	C 5-37 関下あずさ
Z 5-01 阿部 恭征	Z 5-12 小向 光
Z 5-33 三浦 芽依	Z 5-30 細越亜唯実

3年目のCOC

COC事業推進責任者 沢村 利洋

平成26年度から始まった八戸高専COCも今年度で3年になります。平成30年度までの5年間実施する本事業ですが、お陰様で折り返し地点を迎えました。

今年度は、事業3年目ということで、文部科学省まで行って中間審査を受けたり、ちょっと大掛かりな中間報告会を開催したりしました。また、COC事業がCOC+事業の一部に取り込まれるという、ダイナミックな変化があり、COC+八戸ブロックリーダー校として様々なイベントを企画運営した一年でした。

以下に、これまでの実施概要と今後の取り組みを紹介します。

OCOC事業とは

文部科学省「地（知）の拠点（Center Of Community）整備事業」のこと。事業期間5年間で、八戸高専は平成30年までです。本校が採択になった平成26年度は、応募総数237件のなかで採択されたのは25件。単独でのCOC採択校は、平成25年度と合わせても全高専で八戸と広島商船の2校だけです。

この事業の目的は、大学や高専といった高等教育機関が地域の自治体と手を結んで、学生に地域を知ってもらおう、というものです。

八戸高専は八戸市と手を組み、「青森の資源や人財のコンピテンシ育成拠点プログラム」と題して、地域企業などの様々な機関と一緒に、地域の課題を解決する教育プログラム開発と組織改革を行っています。

また、最近、COC+というのを耳にしませんか？これは、COCと似ていますが、目的は、ちょっと異なり“学生の地元就職”と“地域の雇用創出”です。本校は、弘前大学COC+事業「オール青森で取り組む『地域創生人財』育成・定着事業」の一部を担っており、本校周辺地域の活性化と医工福祉関連の新産業創出を目指すリーダー校として活動しています。

○これまでやってきたこと

4学科制から1学科4コース制への移行。地域からの要望を取り入れた学科&カリキュラム構成になりました。

地域志向科目の導入。いろいろな授業で、地域を知り、地域の課題を解決する内容を積極的に取り入れています。ご存知のように、自主探究学習でも、地域関連テーマには金銭的補助を行っています。

出前授業・公開講座の充実。多くの先生が、出前授業の新規テーマ開発を行っています。また、現在、これらはCOC事業として実施しています。

○これからすること

地域志向科目、特に八戸・北東北学の具体化。当該科目リストの掲示などで地域志向科目の明確化を目指します。また、授業内容の改善を引き続き行います。

地域企業見学会や企業内容説明会の実施。皆さんの有益な進路研究の機会を産学官一体となって増やします。是非参加を。

イノベーション・ベンチャー・アイデアコンテストの開催。今年度、第一回を開催しました。来年度も開催しますので、自主探究成果で是非ご応募下さい。

昨年11/23（水）～27（日）に実施した「高専Week」では、本事業の中間報告と地域活性化をテーマにした“COCフォーラム”と、新規出前授業テーマのお披露目を兼ねた“まちなか文化祭”を開催しました。

COCのどのイベントでも、参加して下さった方から高評価を得ています。いずれのイベントも、この地域の産学官民が一体となって学生の役に立ってもらいたいとの願いで知恵を絞って実現したものです。

これからも、多くのイベントを実施していきます。COCという言葉が目に入ったら、興味を持って積極的に参加してみてください。きっと、いいことがあることでしょう。

※COC事業詳細は、下記HPをご参照ください。

<http://www.hachinohe-ct.ac.jp/coc/>

平成28年度 国際交流活動

国際交流センター長 阿 部 恵

平成28年度、八戸高専は国立高専の第一ブロック（東北・北海道地区高専の9高専）のグローバル高専拠点校となりました。グローバル高専事業は、世界に通用する技術者の育成を目指し、他高専にもグローバル教育事業を展開するプログラムです。本校は海外の連携校との交流を推進し、今年度はフランス、フィンランド、タイ、アメリカ、マレーシアから合計61名（内20名は2月、8名は3月予定）の学生を受け入れ、海外インターンシップ・海外研修プログラムでは、フランス、シンガポール、中国、ドイツ、韓国に合計65名の学生を派遣し、研究プロジェクトや異文化交流活動を行っています。さらに、グローバルリーダーシップを備えた人材育成にも力を入れています。多様な文化や異なる価値観をもつメンバーをリードして活躍できることを目標に、「異文化コミュニケーションワークショップ」（10月）と「グローバル・リーダーシップ・セミナー」（10月）を実施しました。学生たちは国際交流活動を通して、多角的・多面的な物事の見方や考え方を理解することにより、大きく成長しています。

本校は学生だけではなく、教職員のグローバル教育力向上にも力を入れ、「異文化理解ワークショップ」（10月）と「アリゾナ大学教員研修（英語で授業するための研修）（1月～2月）」を他高専にも展開しています。今後、グローバル高専の拠点校として、さらに国際交流活動を拡大していく予定です。

＊（独）国立高等専門学校機構は、全国51高専の中から9高専をグローバル高専に指定しました。

平成28年度 学生受入・派遣実績

	日 程	交流国・大学等名	対象学年	人数	期 間	奨学金等
学 生 受 入	4/4～6/24	フランス リール A 技術短期大学他	全 学 年	4	約 3 ヶ月	JASSO 奨学金 80,000 円／月
	11/1～1/31			1		
	4/23～7/23	フィンランド トウルク応用科学大学	全 学 年	3	約 3 ヶ月	
	6/6～7/29	タイ キングモンクット工科大学 ラカバン校	全 学 年	2	約 2 ヶ月	
	6/28～7/8	アメリカ Columbus North International School	全 学 年	3	11 日 間	
	10月29日 2月予定	アメリカ合衆国 エドグレン高校（三沢基地内）	全 学 年	20 20		
	3/13～22	マレーシア マラ工科大学	全 学 年	10	8 日 間	JASSO 奨学金 80,000 円／月
学 生 派 遣	8/15～8/28	中国 大連東軟信息学院	本 科 2 年	1	約 2 週間	
	9/1～9/10	香港 香港 VTC / IVE	本 科 2 年	1	10 日 間	
	9/1～11/18	フランス リール A 技術短期大学他	専 攻 科 1 年	9	約 3 ヶ月	JASSO 奨学金 80,000 円／月
	9/5～11/24	ドイツ	本 科 4 年	1	約 3 ヶ月	トビタテ！留学 JAPAN 160,000 円／月
	9/15～9/30	シンガポール テマセクポリテクニク	本科 3～5 年	5	約 2 週間	JASSO 奨学金 100,000 円／月
			本科 1～2 年	23		青森県教育庁補助金 100,000 円／月
	9/23～9/28	韓国 ソウル市内	本科 1～5 年	19	6 日 間	
	10/7～10/18	中国 大連交通大学、大連理工大学	専 攻 科 1 年	6	11 日 間	

●シンガポール研修に参加したE2三浦リンさん、C3中村圭吾君が英検準1級に合格しました。平成29年度も海外研修を実施予定です。ぜひ、積極的に参加してください。

●海外インターンシップ、海外留学、異文化交流などをを目指す学生のために、返還不要の海外留学奨学金プログラムがあります。

●「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム（第5期）」の派遣学生として、物質工学科の渡邊礼美さんがドイツに留学しました。

【渡邊礼美さんのコメント】

トビタテ！留学JAPAN第5期生として採択していただき、3ヶ月間ドイツに留学しました。私は“再生可能エネルギー”についてインターンシップやフィールドワーク（自主探究）を行いました。技術的なことはもちろん、アジアとは全く違う文化を体験することができ、とても良い経験になりました。皆さんもトビタテ生として海外留学してみませんか？

●来年度は【高校生コース】第4期、【大学生コース】第8期の派遣学生を募集します。国際交流担当教員が申請書の書き方を支援しますので、ぜひ、応募してください。



本年度の報告



外国人留学生担当 太田 徹

長期留学生は13名だった。うち1名が進路変更を望み、9月に退学した。短期留学生は、フランス人5名、フィンランド人3名、タイ人2名であり、4月から2ヶ月～3ヶ月本校で学習した。平成29年3月にマレーシアから10名が10日間滞在の予定である。授業では、長期留学生は進級を望み、短期留学生は、日本語、書道などの一般授業をうけ、残りの時間は実験を行った。

留学生行事はつぎのように行った。4月、弘前城に出かけ、そこでチューターと親睦会を行った。5月、連休のあいだ留学生は全国に散って活動した。長期留学生は津軽の旧家で休暇を楽しんだりした。6月、短期留学生のお別れ会を「子供の国」でやった。8月、留学生の4年以上は、インターンシップをする人が多かった。10月、モンゴルで留学海外自主探究を留学生1名の学生がおこない、校長賞をもらった。11月、青森県の留学生ジャンボリーが十和田市と南部町であった。乗馬体験や農家宿泊などが交流を深めた。1月の東北地区留学生交流会は、予算上のことから、ことは中止になった。

今年から海外自主探究がはじまった。これは、8～10月の時期に本校の学生が海外に出かけて自主探究をし、それを11月に発表するというものである。外国人留学生でなければできないことが、ここにできた。一方では日本人が海外の様子をわからない、他方では留学生は故国のことでありよくわかる。このふたつをうまく結び付け、海外自主探究を進めるのである。日本人と外国人をひとつのチームにまとめていく技量が必要であり、今年の夏は、新しい留学生の活躍の場が試される。



モンゴルの牧畜民の家（ゲル）の中で、チーズを作っている留学生

女子学生の地域貢献と研究の道と



男女共同参画委員長 戸田山みどり

男女共同参画委員会では今年度も外部資金を活用してさまざまな事業を行ってきました。1つめがCOC予算による女子学生キャリア塾、もう1つが、今年度から始まったダイバーシティ研究環境実現イニシアティブという女性研究者支援事業です。COCは県内就職を促進する側面がありますが、ダイバーシティ（以下略）の目的は女性研究者（本校の場合、おもに教員）の増加、昇進の促進、ワークライフバランスの推進などであり、さらに女性研究者の裾野拡大という目標があります。

研究者として県内就職をすれば、どちらの目的も同時に果たせることになる、と考え、今年も弘前大学のオープンキャンパスに学生を引率しました。今年は女子1名が弘前大学理工学部への進学を決めており、将来が期待されます。10月には、むつ市の国立研究開発法人海洋研究開発機構を見学し、海洋地球研究船「みらい」上で女性研究者に海洋研究のおもしろさを話していただきました。2月には、青森県産業技術センター八戸地域研究所を見学し、弘前の研究所で活躍している本校OGについてのお話をうかがうこともできました。

もちろん、技術者として地域の職場に貢献している卒業生も大勢いらっしゃいます。今年度は中発テクノ、産業公害・医学研究所八戸分室、八戸インテリジェントプラザ、八戸市環境部下水道施設課を見学させていただきましたが、OG自らが、高専で学んだことをもとに働き続けることの意義をお話くださり、参加した低学年の学生にはたいへん刺激になってのではないかと思います。

しかし、忘れてはいけません。女子学生に研究者としていちばん戻ってきてほしいのは、やはりこの八戸高専です。とはいっても、現在日本全体が女性研究者・技術者の採用を目標としていて、競争が厳しい状況です。そして、この状況はまだ数十年は続くと考えられますので、それほど簡単に改善しないでしょう。

逆に、女子学生のみなさんは、今後しばらくは、男子学生より就職が有利です。ぜひ、地域に貢献する研究者をめざしてくださいね！

相談室から



相談室長 今野 恵喜

学年末を控えたこの時期、不安げな様子の学生が気になります。彼等が不安定な気持ちから落ち着きを取り戻し、望ましい方向に向かって進んでいけるように、引き続き支援してまいりたいと思っております。

また、学生のみなさんが、高専時代に、多くの人とふれあい、様々な体験をして、心をしっかりと成長させてくれることを願っています。

相談室の活動を振り返ります。

11/21(月)～30(水)に今年度2回目の『**こころと体の健康調査**（自殺予防のためのチェックリストの活用）』を全学生対象に実施しました。学生のメンタルの不調をいち早く把握し、必要に応じ精神科医やカウンセラーなどによる専門的な面談につなげるなど、学生の自殺を未然に防ぐ取り組みです。

11月30日(水)の特活の時間に相談室主催の**1年生対象講演会**が開催されました。講師は、第二・四木曜日担当のカウンセラーで臨床心理士の石川善子先生です。『**『自分らしさ』を探して～青年期の心と成長～**』との題目で講演をしてくださいました。



「心とは何か？」から始まり、「心の機能」、「心の成長は一生つづく」、「青年期の発達課題」、「自我同一性」、「心が成長するとき」、「青

年期の自我同一性」、「『自分らしさ』を探して」から、「TEGエゴグラムについて～自分の心の働きを知ろう～」と続けました。学生たちはエゴグラムを体験し、その活用について学びました。

「結果に良い悪いはありません。自分探し・成長の手助けとして、自分の気持ちや考えを表現してみましょう。」と述べられました。

最後に、「エゴグラムの結果の見方、活用の仕方、気になったことなど、よかったら相談室にきて話してみませんか。」と結びました。

12/5(月)～21(水)には、1年生全員を対象に、相談室担当教員との面談『**話してみよう！1分間**』の2回目を実施いたしました。目的は、①学年末を控えた学生の悩みをすくい上げ、安定した状態で新年度を迎える助力とする。②学生の相談できる相手の選択肢を広げる。ことでした。話題は、「私のなりたい職業」、「理想とする人物像」、「30年後の自分」、「私の望む生き方」、などです。この実施により、さらに相談しやすくなり、再面談や場合によりカウンセラーにつながればよいと思っています。

今年度も**相談室関係の研修**（「東北地区高等専門学校学生相談室連絡協議会」、国立高専機構主催の「全国国立高等専門学校学生支援担当教職員研修」、日本学生支援機構主催の「障害学生支援実務者育成研修会」、「全国障害学生支援セミナー（体制整備支援セミナー）」、日本学生相談学会主催の「全国学生相談研修会」）に、室長、副室長、相談室担当教員、看護師が参加いたしました。これらの研修で学んだ内容は、学生の相談や支援に役立てておりますし、全教員に報告し、理解を深めていただいています。

最後に、何か気がかりなことなどございましたら、是非、相談室をご活用ください。

☆学生本人と保護者の方々が利用になれる高専機構の「**KOSEN健康相談室**」フリーダイヤル0120-50・24・12もあります。（受付時間：24時間365日）



ブックハンティング 実施報告

平成28年7月6日（水）に伊吉書院西店において、恒例のブックハンティングを実施しました。参加者は学生会図書委員を中心に14名で、情報工学、技術工学、小説、日本を紹介する本などが主に選書されました。

図書館ではブックハンティングコーナーを設けて展示し、皆様のご利用をお待ちしています。

◎ブックハンティングでの選書紹介

書 名	著 者 名
コンピュータシステムの理論と実装	Nisan Noam
データサイエンス講義	Schutt Rachel
やさしいC#	高橋 麻奈
シェルプログラミング実用テクニック	上田 隆一
レイアウト、基本の「き」	佐藤 直樹
アンドロイドは人間になれるか	石黒 浩
植物はなぜ動かないのか：弱くて強い植物のはなし	稲垣 栄洋
高校生からの統計入門	加藤 久和
国家を考えてみよう	橋本 治
力学入門：コマから宇宙船の姿勢制御まで	長谷川 律雄
天使とは何か：キューピッド、キリスト、悪魔	岡田 温司
研究不正：科学者の捏造、改竄、盗用	黒木 登志夫
科学という考え方：アインシュタインの宇宙	酒井 邦嘉
故事成句でたどる楽しい中国史	井波 律子
行政ってなんだろう	新藤 宗幸
10代の憲法な毎日	伊藤 真
キラキラネームの大研究	伊東 ひとみ
現代語古事記	竹田 恒泰
日本の歴史をよみなおす	網野 善彦
一日江戸人	杉浦 日向子
無私の日本人	磯田 道史
18歳からの投票心得10カ条	石田 尊昭
図解 & 事例で学ぶ入社1年目の教科書	カデナクリエイト
クマにあったらどうするか	姉崎 等
ピーカーくんとそのなかまたち	うえたに夫婦
日本刀の科学：武器としての合理性と機能美に科学で迫る	臺丸谷 政志
Think Bayes：プログラマのためのベイズ統計入門	Downey Allen

書 名	著 者 名
プログラミングのための確率統計	平岡 和幸
ゼロからトースターを作ってみた結果	Thwaites Thomas
この世界が消えたあとの科学文明のつくりかた	Dartnell Lewis
街並みの美学	芦原 義信
紙の建築行動する：建築家は社会のために何ができるか	坂 茂
データ分析によるネットワークセキュリティ	Collins Michael
和菓子 = Wagashi	藪 光生
金魚 = Kingyo	岡本 信明
合葬	杉浦 日向子
超意訳三国志	原 寅彦
千代紙 = Chiyogami	小林 一夫
Unity5の教科書：2D&3D スマートフォンゲーム入門講座	北村 愛実
組み立て×分解！ゲームデザイン	渡辺 訓章
「サバを読む」の「サバ」の正体	NHKアナウンス室
刀剣屋真田清四郎：狐切り村正	麻倉 一矢
エピローグ = Epilogue	円城 塔
増山超能力師事務所	誉田 哲也
天才	石原 慎太郎
寺社奉行脇坂閼魔見参！	風野 真知雄
雀蜂	貴志 祐介
見晴らしのいい密室	小林 泰三
高校入試	湊 かなえ
夢にも思わない	宮部 みゆき
ここはボツコニアン	宮部 みゆき
魔王がいた街	宮部 みゆき
殺意の水音	大石 圭
僕は長い昼と長い夜を過ごす	小路 幸也
超高速！参勤交代	土橋 章宏
超高速！参勤交代リターンズ	土橋 章宏
本日は大安なり	辻村 深月
幹事のアッコちゃん	柚木 麻子
跳びはねる思考：会話のできない自閉症の僕が考えていること	東田 直樹
歌おう、感電するほどの喜びを！	Bradbury Ray
アレクシア女史、倫敦で吸血鬼と戦う	Carriger Gail
プロントメク！	Coney Michael
地球礁	Lafferty R. A.
スキャナーに生きがいはいない	Smith Cordwainer
Metamorphosis	Kafka Franz

第 53 回東北地区高等専門学校体育大会ラグビー競技結果

日 程	大 会 会 場	結 果
H28.10/15 ～ 18	八橋陸上競技場（秋田県秋田市）	2 回戦敗退

第 51 回全国高等専門学校体育大会結果一覧

団体の部（全成績）

競 技 名	大 会 会 場	男 子	女 子
男 子 バ レ ー ボ ー ル	岐 阜 メ モ リ ア ル セ ン タ ー で 愛 ド ー ム ・ ふ れ 愛 ド ー ム	予選敗退	
サ ッ カ ー	A 会場：愛鷹広域公園 多目的競技場・スポーツ広場 B 会場：裾野市運動公園 陸上競技場	全国第 3 位	

個人の部

競 技 名	種 目 名	科 年	氏 名	成 績
陸 上 競 技	男子100m走	C 5	工 藤 泰 良	予選敗退
	男子110mH	Z 3	赤 坂 健 太	予選敗退
	男子3000mSC	C 3	小 橋 和 樹	第 2 位
	男子走高跳	Z 3	赤 坂 健 太	予選敗退
	男子走幅跳	E 3	高比座 海 斗	予選敗退
	男子三段跳	E 3	高比座 海 斗	予選敗退
	男子円盤投	M 5	小 林 蒼 太	予選敗退
	女子走高跳	C 3	津 村 舞 奈	第 7 位
	女子3000m	C 4	前 川 由 貴	第 6 位
ソ フ ト テ ニ ス	女子ダブルス	Z 4	粒 来 真優子	2 回戦敗退
		Z 4	田 中 志 穂	
	女子シングルス	C 5	沢 谷 実 里	準 優 勝
	女子シングルス	Z 4	粒 来 真優子	優 勝
柔 道	女子52kg級	C 5	浦 田 夢 月	第 3 位
水 泳	男子200mバタフライ	M 1	嵯 峨 駿 佑	予選敗退
	女子50m背泳ぎ	Z 2	梶 本 知 里	予選敗退

<平成28年度 各種コンテスト結果一覧>

アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2016東北地区大会

日 程：平成28年10月23日(日)
会 場：仙台高等専門学校広瀬キャンパス
第1体育館
結 果：◎Aチーム サバーウォーズ 初戦敗退
◎Bチーム Pile Upple 初戦敗退
両チームに、奨励賞を戴きました！



本田宗一郎杯 Hondaエコ マイレッジ チャレンジ2016 第36回 全国大会

日 程：平成28年10月1日(土)～2日(日)
会 場：ツインリンクもてぎ（栃木県芳賀郡茂木町）
結 果：八戸高専自動車工学部BG号 4位



全国高等専門学校 第27回プログラミングコンテスト

日 程：平成28年10月8日(土)～9日(日)
会 場：伊勢市観光文化会館（三重県伊勢市）
結 果：◎パズルでピース！（白目）
決勝進出10位（備考：競技部門）



全国高等専門学校 デザインコンペティション2016 in Kochi

日 程：平成28年12月17日(土)～18日(日)
会 場：高知ちばさんセンター（高知県高知市）
結 果：◎陸奥の琥珀
審査員特別賞（備考：構造部門）



(正)



卒業生・修了生表彰



校			長			賞			C	平井東		卒業・特別研究優秀賞	M	小田島達哉	C	平井東		
									M	小笠原直人			M	原佳希	Z	阿部恭征		
									E	道上和馬			E	大嶋一輝	Z	松田真佑		
									C	平井健悟			E	大坂健悟	AC	高橋真佳		
学業成績優秀賞									Z	高坂晴伎		課外活動功労賞	C	野中健吾	AC	鳥谷部綾乃		
									AE	石橋論貴			科学部			E	上井公介	
									M	陣場優貴			自動車工学部			M	角濱遼多朗	
									E	大坂健悟			吹奏楽部			C	小泉友貴紀	
									C	平井東生			電子情報工学部			E	木立貴大	
									Z	日脇陸			放送部			E	大嶋一輝	
									AE	石橋論佳			演劇部			E	坂本千春	
									AC	高橋侑佳			インターナショナルフレンドシップクラブ			C	大久保里穂	
									Z	大久保生朗			総合デザイン部			C	嶋海和希	
									Z	豊川翔朗			書道部			C	嶋守日菜	
									Z	夏堀隼也			陸上競技部			C	工藤泰良	
									Z	松田真世			女子バスケットボール部			C	南瑠美	
									AM	荒木亮太			女子バレーボール部			C	坂本千咲季	
									AM	西村敦貴			ソフトテニス部			M	大田正悟	
									AE	成田昂世			柔道部			C	浦田夢月	
									AE	野里情司			剣道部			C	紺野鈴	
皆勤賞	M	杉澤勇紀	Z	豊川翔朗		学生会・寮生活会功労賞	硬式野球部			M	相内慶祐							
	M	沼辺尚己	Z	夏堀隼也			サッカー部			Z	高橋智樹							
	M	林克也	Z	松田真世			水泳競技部			E	工藤佑希也							
	E	大嶋一輝	Z	荒木亮太			バドミントン部			E	小野雄							
	E	小野雄大	AM	荒木亮太			ラグビーフットボール部			E	中村誠							
	E	木立貴大	AM	西村敦貴			空手道部			M	鈴木まあり							
	E	今野弘太	AE	成田昂世			山岳部			Z	上脇陸和生							
	E	山崎涼太	AE	野里情司			プログラミングコンテスト			E	道智樹							
	E	工藤健斗	AE	平館帆			学生会			Z	高橋智樹							
	E	坂本海斗	AE	吉田寛和			学生会			Z	新毛友哉							
	E	野牛春那	AE	吉田寛和			寮学生会			C	小林潤哉							
	E	保坂光希	AC	柏崎萌佳			寮学生会			C	工藤泰良							
	C	佐々木智哉	AC	高橋侑佳														
	C	高橋卓也	AC	鶴飼里菜														
	C	竹原万莉那	AZ	田中優希														
	C	馬場大七	AZ	平野和也														
精勤賞	C	上野大七	AZ	平野和也														
	M	相内慶祐	C	坂本彩														
	M	小笠原直人	C	坂本千咲季														
	M	角田恵大	C	佐藤真帆														
	M	日下部俊哉	C	島守日菜														
	M	小林聖龍	C	橘野中健吾														
	M	坂本太龍	C	野中健吾														
	M	田中章太	C	平井東														
	M	田端宗亮	C	平井東														
	M	中里亮太	Z	板垣世														
	M	原佳希	Z	起田賢一														
	M	向山溪太	Z	起田賢一														
	E	石田竜太	Z	高橋智樹														
	E	蝦名希優	Z	田澤祥江														
	E	清水一希	Z	田澤祥江														
	E	中村誠	Z	日脇陸														
卒業・特別研究最優秀賞	E	吉村悠	Z	馬渡雪乃														
	E	大坂侑	Z	三森芽見														
	E	小向祥実	Z	森若輪														
	C	青木友哉	Z	若松明日香														
			C	今千尋														
			M	小笠原直人														
			E	道上和馬														
			C	竹原万莉那														

M：機械工学科　E：電気情報工学科　C：物質工学科　Z：建設環境工学科
AM：機械システムデザインコース　AE：電気情報システム工学コース
AC：マテリアル・バイオ工学コース　AZ：環境都市・建築デザインコース

2023年度第3学年

M：機械工学科 E：電気情報工学科 C：物質工学科 Z：建設環境工学科
AM：機械システムデザインコース AE：電気情報システム工学コース
AC：マテリアル・バイオ工学コース AZ：環境都市・建築デザインコース



物質工学科第5学年



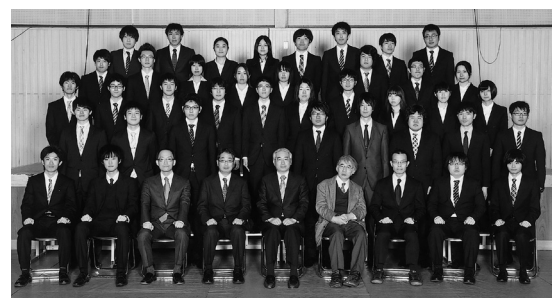
機械工学科第5学年



建設環境工学科第5学年



電気情報工学科第5学年



専攻科第2学年

平成28年度 各種検定資格合格者一覧

		第1学年					第2学年					第3学年					第4学年					第5学年					合 計
		M	E	C	Z	計	M	E	C	Z	計	M	E	C	Z	計	M	E	C	Z	計	M	E	C	Z	計	
特 別 学 修 専 門	実 用 英 語 検 定 準 2 級	16	13	14	13	56	8	12	11	13	44	11	15	5	12	43	1			2	3					0	146
	実 用 英 語 検 定 2 級	2				2			1	2	3	2	2		1	5				1	1					0	11
	実 用 英 語 検 定 準 1 級					0	1				1			1		1				1	1					0	3
	漢 字 能 力 検 定 2 級				1	1					0				1	1					0					0	2
	漢 字 能 力 検 定 準 1 級					0					0					0					0		1			1	1
	工 業 英 語 検 定 4 級	1	1		1	3		2	2	1	5	6	13	3	5	27					0					0	35
	工 業 英 語 検 定 3 級					0					0	1				1		3			3		1			1	5
	数 学 検 定 2 級					0					0					0		1			1					0	1
	数 学 検 定 準 1 級					0					0					0					0					0	0
	TOEIC 400点以上470点未満					0					0					0	4	6	3		13	2	1			3	16
	TOEIC 470点以上600点未満					0					0					0		1		2	3	4	1	1	1	7	10
	TOEIC 600点以上730点未満					0					0					0	1		1		2		2	2		4	6
	TOEIC 730 点 以 上					0					0					0	1				1	1	1	1	1	4	5
	日 本 語 能 力 試 験 N 2					0					0					0	1				1					0	1
	知的財産管理技能士3級					0					0					0					0					0	0
	知的財産管理技能士2級					0					0					0					0		1			1	1
	ラジオ音響技能検定3級					0					0					0					0					0	0
	デジタル技術検定3級					0					0					0					0					0	0
	I T パ ス ポ ー ト					0					0					0				1	1	1				1	2
	基 本 情 報 技 術 者					0					0					0					0					0	0
	応 用 情 報 技 術 者					0					0					0					0					0	0
	ボ イ ラ ー 技 士 2 級					0					0					0					0					0	0
	電 気 主 任 技 術 者 3 種					0					0					0		1			1					0	1
	電 気 工 事 士 2 種					0					0					0					0					0	0
	危 険 物 取 扱 者 乙 種 (第4類)					0	2				2	1	1		5	7	1		2	2	5	2	1			3	17
	危 険 物 取 扱 者 乙 種 (第4類以外)					0	1				1				2	2					0	1				1	4
	危 険 物 取 扱 者 甲 種					0					0					0					0			1		1	1
	消防設備士乙種(いずれかの類)					0					0	1				1					0					0	1
課 題 研 究	特 別 企 画 学 習 I (テマセク・ポリテク技術英語研修)	4	3	2		9	1	2	5	2	10			1		1				1	1					0	21
	特 別 企 画 学 習 II (テマセク・ポリテク技術英語研修)					0		1	1		2	1				1					0					0	3
	特 別 企 画 学 習 I (テクニカルチャレンジキャンプ2016)					0		1			1					0					0					0	1
	特 別 企 画 学 習 I (グローバルセミナー)					0					0					0			1		1	1				1	2
	特 別 企 主 画 学 習 I (自 主 探 究)					0			1		1					0					0					0	1
	特別企画学習I(電気回路I、電磁気学I、電子工学I、デジタル回路I)					0					0					0		1			1					0	1
	特 別 企 主 画 学 習 I (自 主 探 究)					0					0	1				1				1	1					0	2
	特 別 企 主 画 学 習 II (自 主 探 究)					0					0				1	1					0					0	1

ス ポ ー ツ 賞 受 賞 者

ク ラ ブ 名	(表彰を受けた)団体名等	名 称	クラス	氏 名	クラス	氏 名	クラス	氏 名	クラス	氏 名
男子バレーボール部	青 森 県 体 育 協 会	優 秀 選 手 賞	E4	長内 嵩明	Z4	夏坂 優希	M2	浪打 啓太	M1	南館 拓実
			E4	田中 大樹	C3	齊藤 基	Z2	泉田 真		
			E4	平川 周汰	Z3	畠山 拓也	M1	長畑 慶彦		
			Z4	今泉 尚也	M2	石橋 薫	M1	古館 昂大		
	八 戸 市 バレーボール協会	特 別 賞	E4	長内 嵩明	Z4	夏坂 優希	M2	浪打 啓太	M1	南館 拓実
			E4	田中 大樹	C3	齊藤 基	Z2	泉田 真	Z2	一戸 佳乃
			E4	平川 周汰	Z3	畠山 拓也	M1	長畑 慶彦		
			Z4	今泉 尚也	M2	石橋 薫	M1	古館 昂大		
女子バレーボール部	青森県高体連バレーボール専門部	専 門 部 長 賞	Z3	畠山 拓也						
	八 戸 市 バレーボール協会	奨 励 賞	E4	田中 大樹	C3	齊藤 基				
ソフトテニス部	八 戸 市 バレーボール協会	奨 励 賞	C3	田口 理央	Z3	岡沼 佳音				
	青 森 県 教 育 委 員 会	青森県スポーツ大賞	Z4	粒来真優子						
	青 森 県 体 育 協 会	青森県特別優秀選手賞	Z4	粒来真優子						
サ ッ カ ー 部	八 戸 市 サ ッ カ ー 協 会	青森県優秀選手賞	C5	沢谷 実里						
		優 秀 選 手 賞	Z5	高橋 智樹						
	弘 前 市	スポーツ賞優秀賞	M3	工藤 綾						
			M5	野崎 純平	M4	曲田 航平	Z3	山村 優太	Z2	宮 也晋
	青 森 県 体 育 協 会	優 秀 選 手 賞	M5	向山 湊太	M3	奈良 陽海	Z3	木村 匡伯	C1	竹ヶ原陽斗
			M5	工藤 雄太	E3	宮崎 翔	Z3	高嶋 慧周		
			Z5	高橋 智樹	C3	中村 圭吾	C2	山本 光		
			M4	高津 勇武	C3	村田 翼	C2	立花 呼人		

平成29年度 行 事 予 定 表

[illegible]

学生総会・高専大会壮行会を行う日は短縮授業とする。

- ・到達度試験の10日前の部活動は原則全面禁止とする。

[illegible]

※ただし、都合により変更する場合があります。